

長崎県こどもアンケート結果



令和7年8月29日



長崎県こども政策局
長崎県教育庁



アンケート実施概要

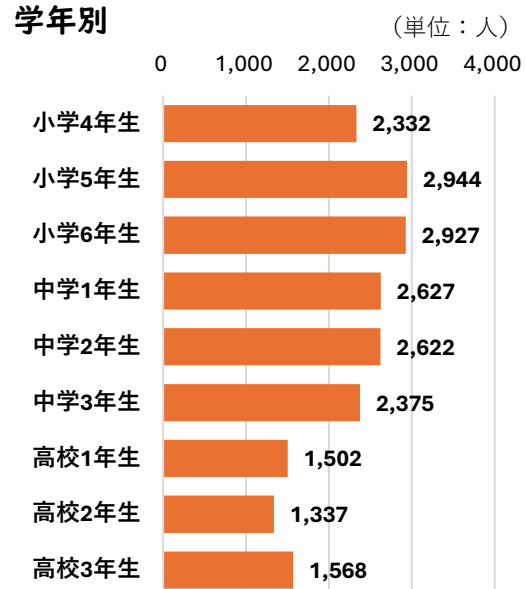
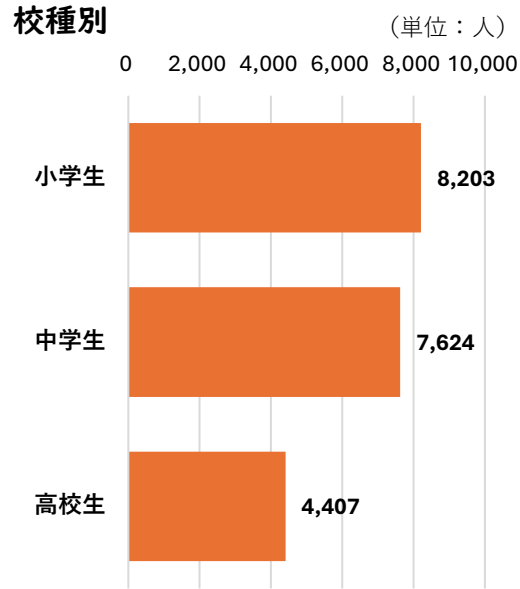
- 調査期間** : 令和7年7月7日(月)～7月25日(金)
- 調査対象** : 長崎県内の小学校(4～6年)、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校(小学部4年生以上)に在学する児童生徒
- 調査目的** : こども基本法第11条の趣旨を踏まえ、本県のこどもたちから直接意見を聴くことで、意見表明の機会を確保するとともに、こどもたちの状況やニーズを的確に把握し、より実効性のあるこども関連施策の企画・立案等に繋げること
- 調査方法** : WEB(Googleフォーム)による回答
- 回答数** : 20,234名(回収率19.7%)

アンケート設問

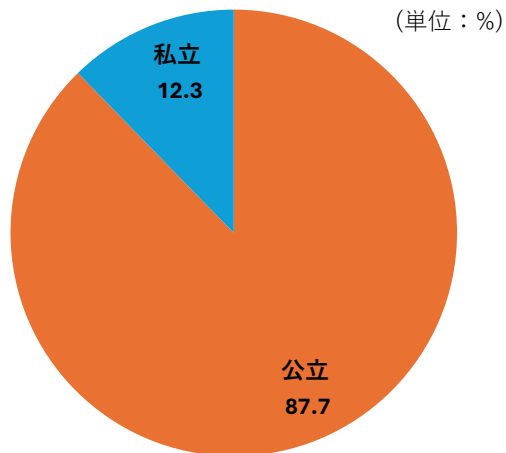
1. あなたが通っている学校と学年を教えてください。
2. 通っている学校は公立ですか、私立ですか？
3. どこの地域に住んでいますか？
4. 自分の住んでいる地域のことが好きですか？
 - 4-1. そのように思うのはなぜですか？
5. 今、自分は幸せだと思いますか？
 - 5-1. そのように思うのはなぜですか？
6. 今の自分が好きですか？
 - 6-1. そのように思うのはなぜですか？
7. 興味・関心があり学びたいことはどんなことですか？<総合的な学習（探究）で取り組みたいことなど>
8. より良い学校・教育のために何が重要だと思いますか？
9. 将来、就きたい職業は何ですか？
10. :生活の中で困っていること、心配に感じる事はどんなことですか？
11. あなたの家族は、あなたと向き合う時間を十分にとってくれますか？
 - 11-1. そのように思うのはなぜですか？
12. 学校は安全安心に過ごすことができますと思いますか？
13. 次の場所は、あなたにとって安全で安心して過ごすことのできる場所になっていますか？（）
13. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所が身近にありますか。
14. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所として、あれば利用したいと思うのはどんなところですか。※長崎市のみ
15. あなたの身の回りには、遊びや体験の機会や場が十分にあると思いますか？
16. あなたがやってみたい体験にはどのようなものがありますか？
17. あなたは「こどもまんなか社会」という言葉を聞いたことがありますか？
18. あなたは、こどもに関する行政等の取組について、自身の意見を聴いてもらえていると思いますか？

【自由記述】
県が目指す「こどもまんなか社会」を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもまんなか」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。

1. どの学校に通っていますか？

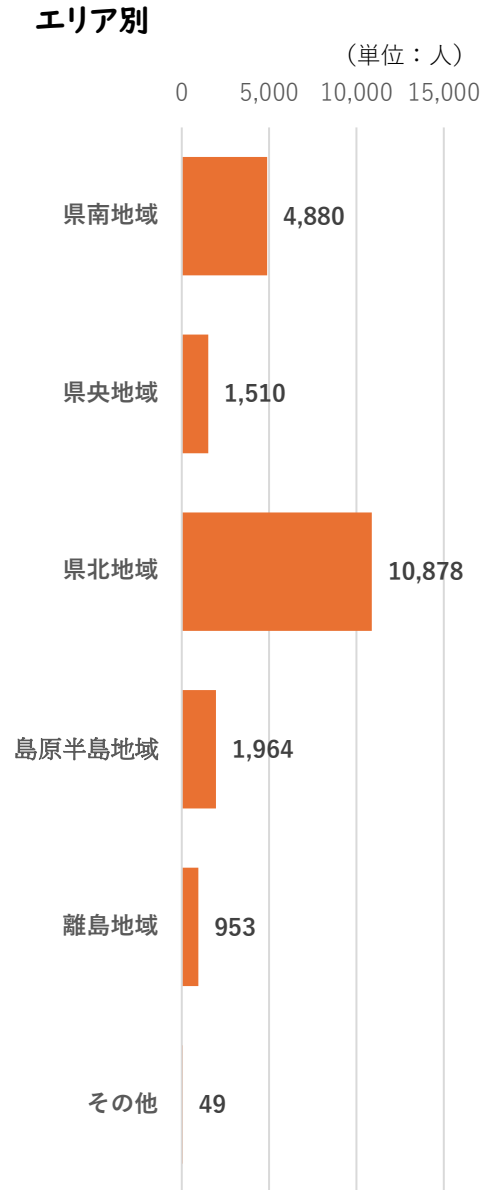


2. 通っている学校は公立ですか、私立ですか？

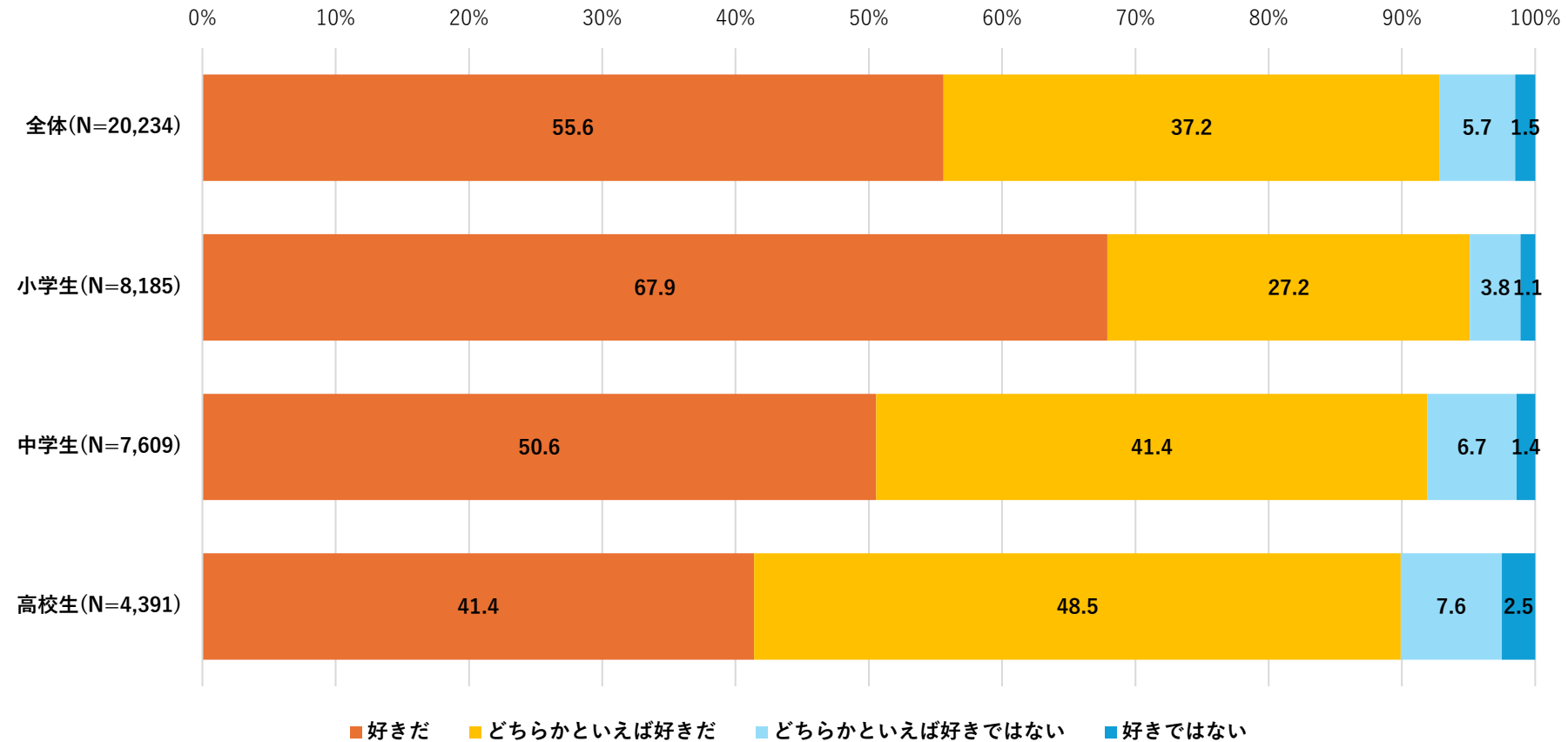


N=20,234

3. どの地域に住んでいますか？

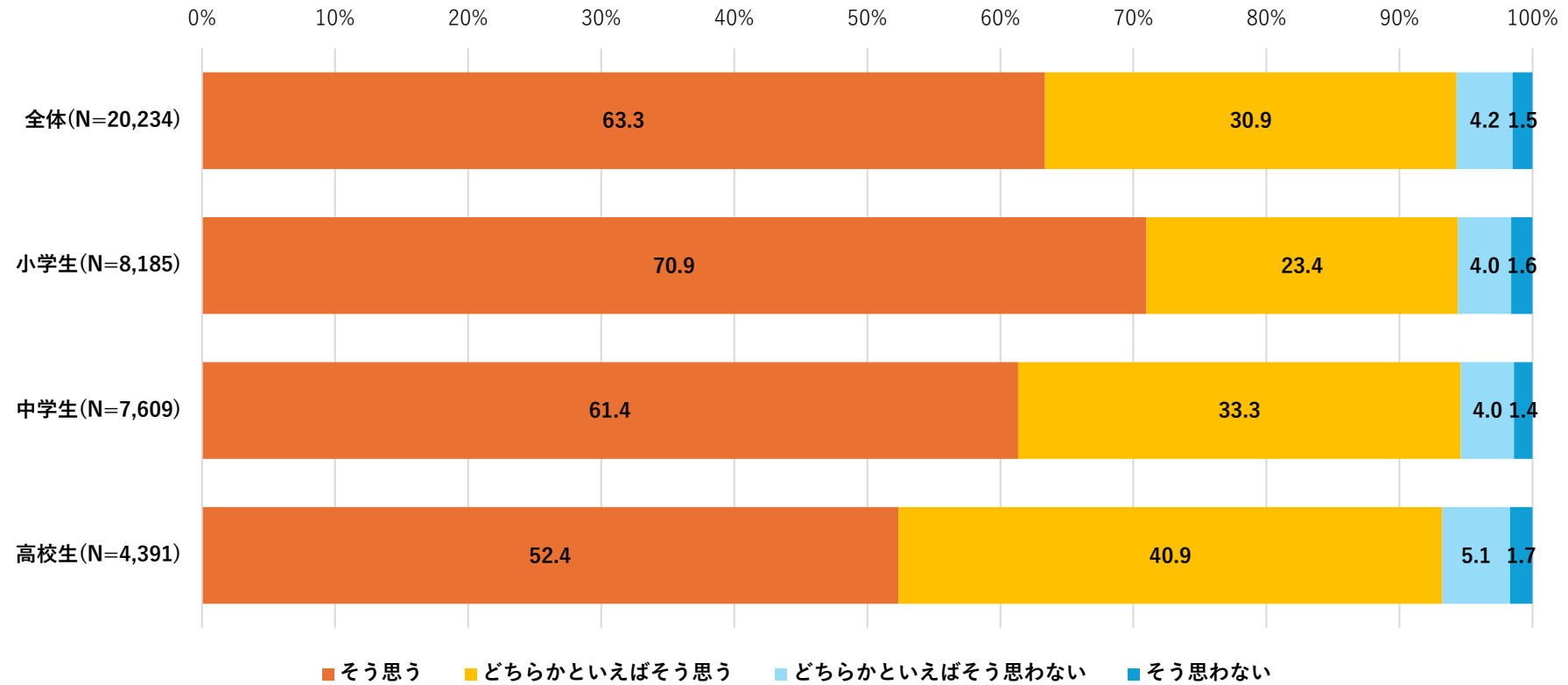


4. 自分の住んでいる地域のことが好きですか？(*いずれか1つ)



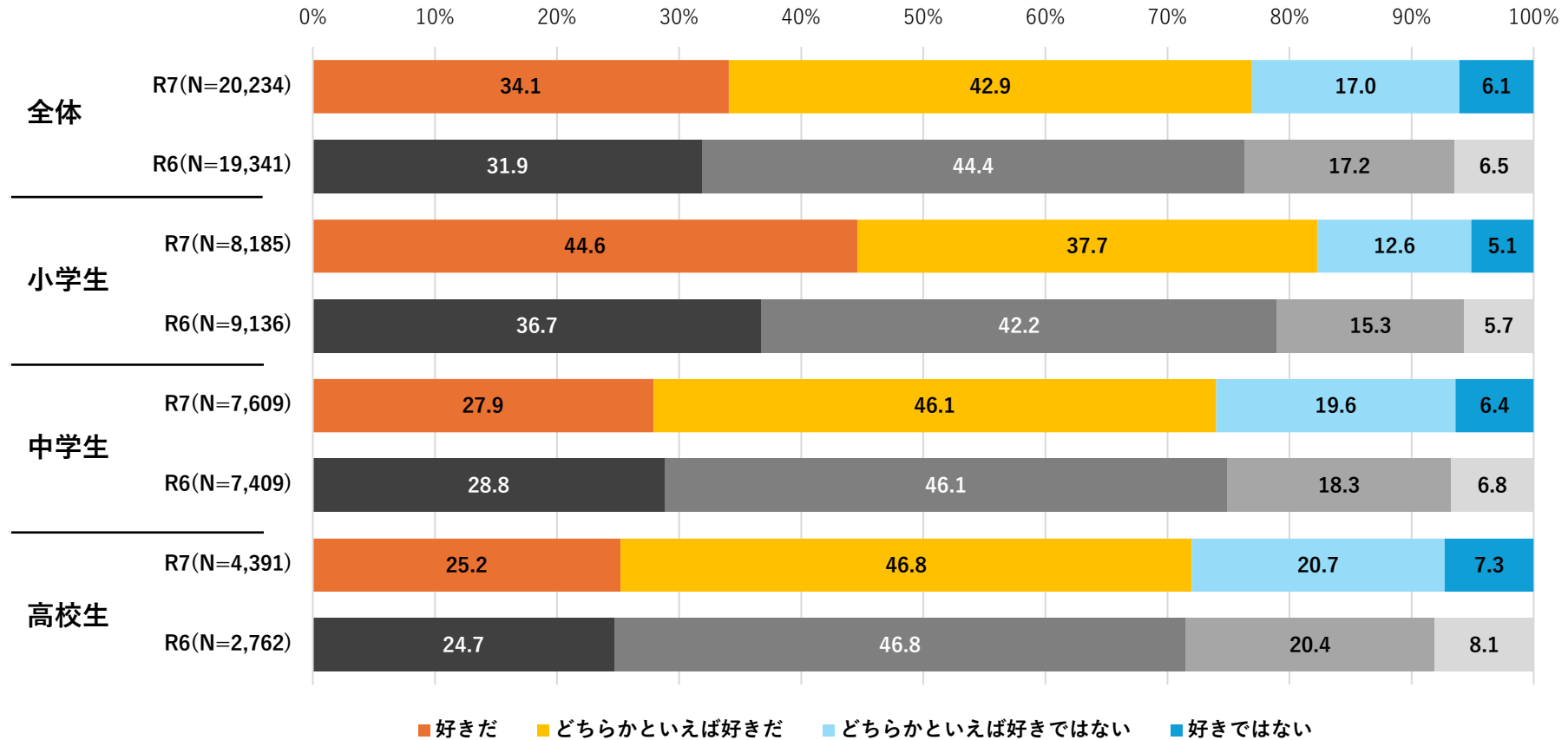
- 全体の5割以上が「好きだ」と回答。「どちらかといえば好きだ」を含めると9割を超える。
- 「好きだ」と回答した割合は小学生が最も高く、年齢が上がるにつれて低下する傾向がみられる。

5. 今、自分は幸せだと思いますか？(*いずれか1つ)



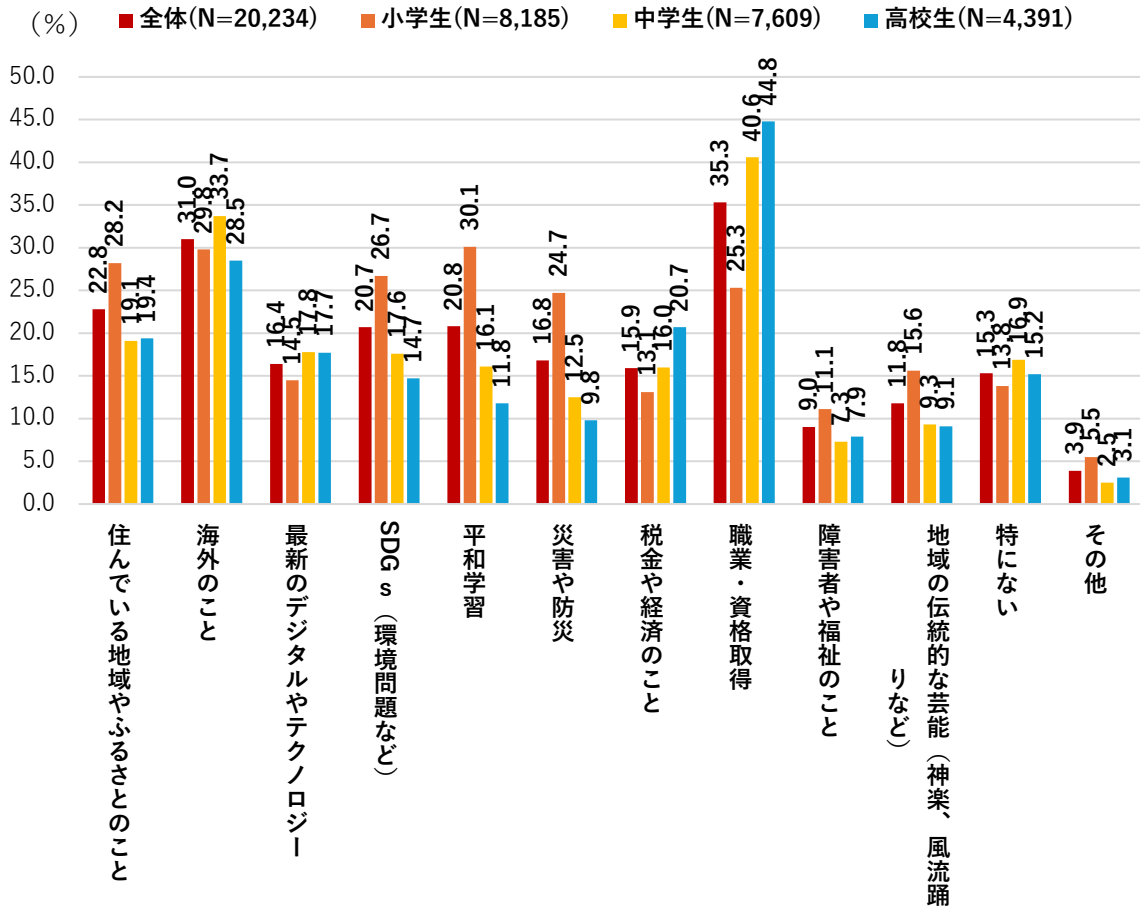
- 小学生、中学生、高校生ともに、「そう思う」の割合が最も多く、5割以上となっている。
- 年齢が上がるにつれて「そう思う」が少なく、「どちらかといえばそう思う」が多い。

6. 今の自分が好きですか? (*いずれか1つ)



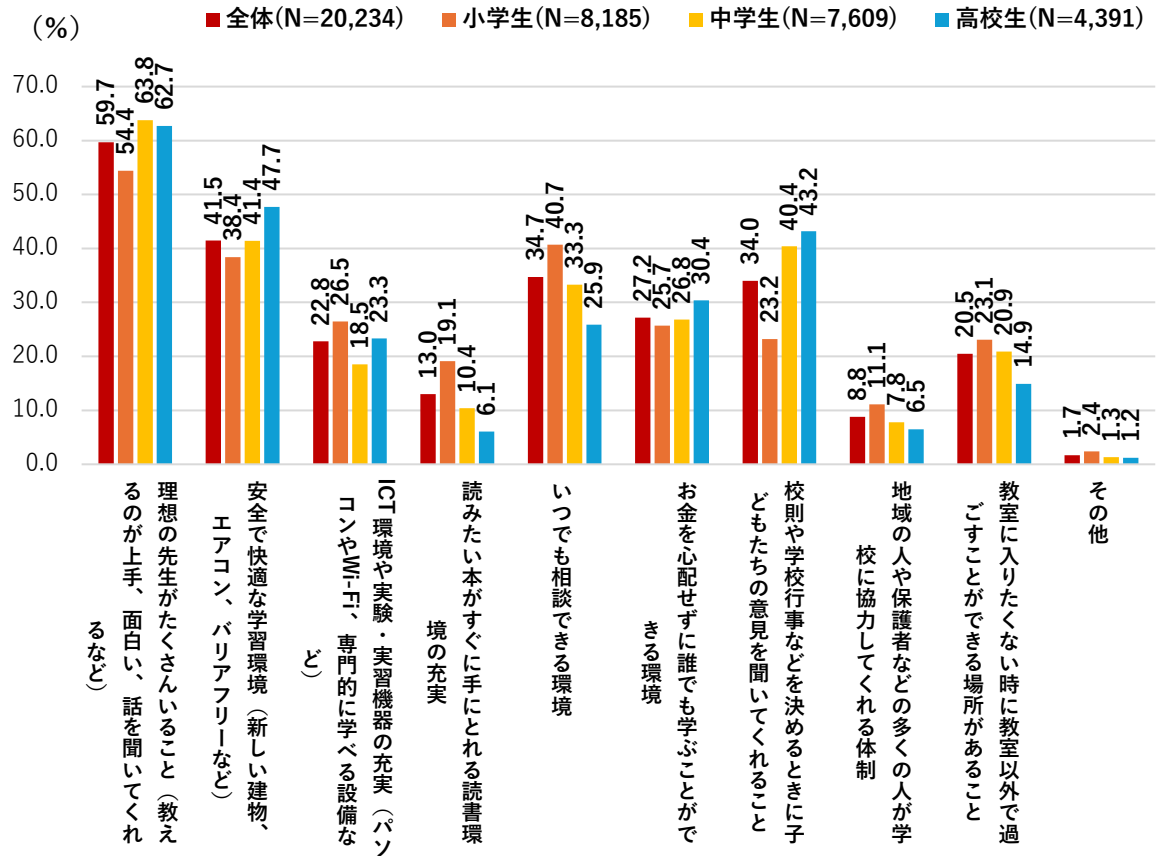
- 小学生は「好きだ」が最も多く、中学生・高校生は「どちらかといえば好きだ」が最も多い。
- 年齢が上がるにつれて「好きだ」が少なく、「どちらかといえば好きだ」「どちらかといえば好きではない」「好きではない」が多い。
- R6と比較して大きな変化はない。

7. 興味・関心があり学びたいことはどんなことですか？(*最大3つまで)



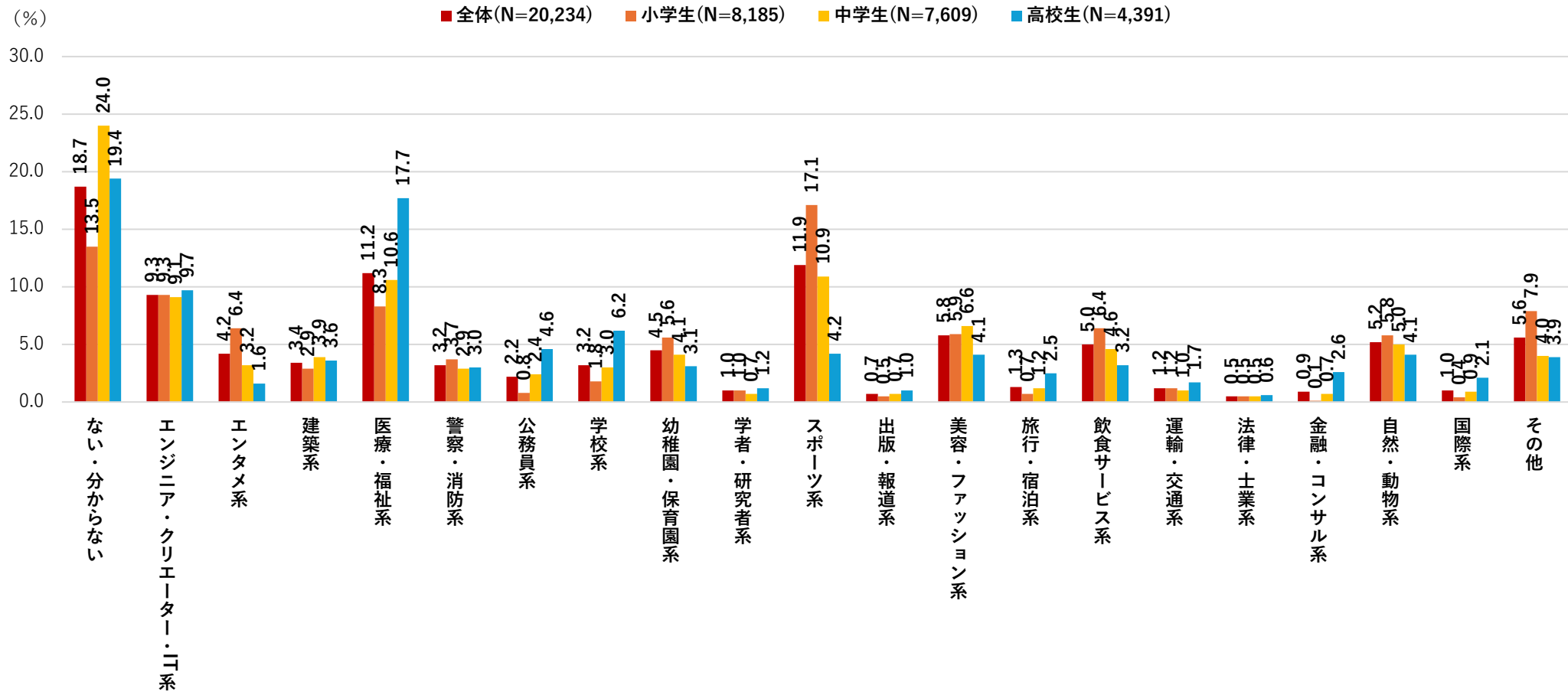
- 全体では「職業・資格取得」が最も多く、「海外のこと」「住んでいる地域やふるさとのこと」と続く。
- 小学生は「平和学習」への興味関心が最も高い。
- 中学生、高校生は「職業・資格取得」への興味関心が最も高く、「海外のこと」が続いている。

8. より良い学校・教育のために何が重要だと思いますか？(*最大3つまで)



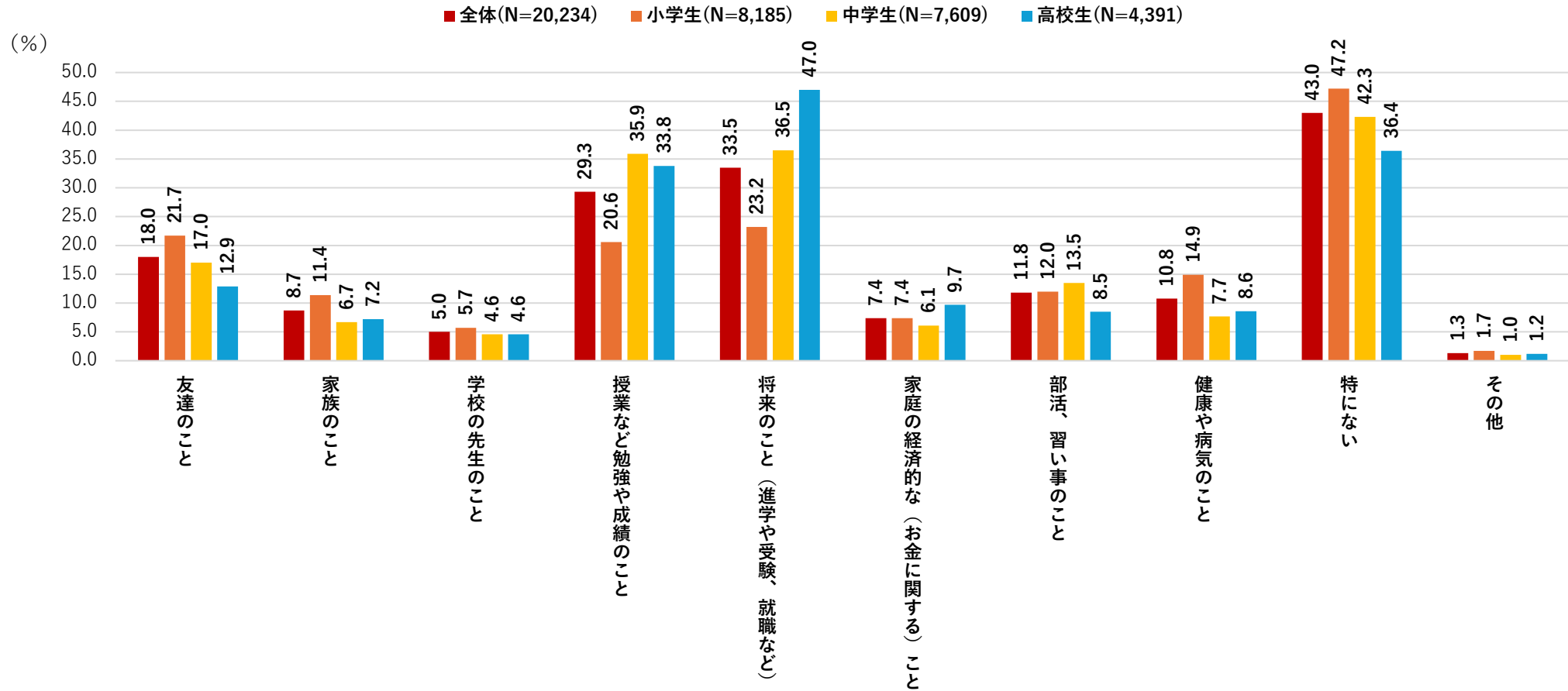
- 全体では「理想の先生がたくさんいること」が最も多く、「安全で快適な学習環境」「いつでも相談できる環境」と続く。
- 「理想の先生がたくさんいること」は、小学生、中学生、高校生共通して最も多い。
- 「安全で快適な学習環境」「お金を心配せずに誰でも学ぶことができる環境」「校則や学校行事などを決めるときに子どもたちの意見を聞いてくれること」は、年齢が上がるにつれて多くなっている。

9. 将来、就きたい職業は何ですか? (*いずれか1つ)



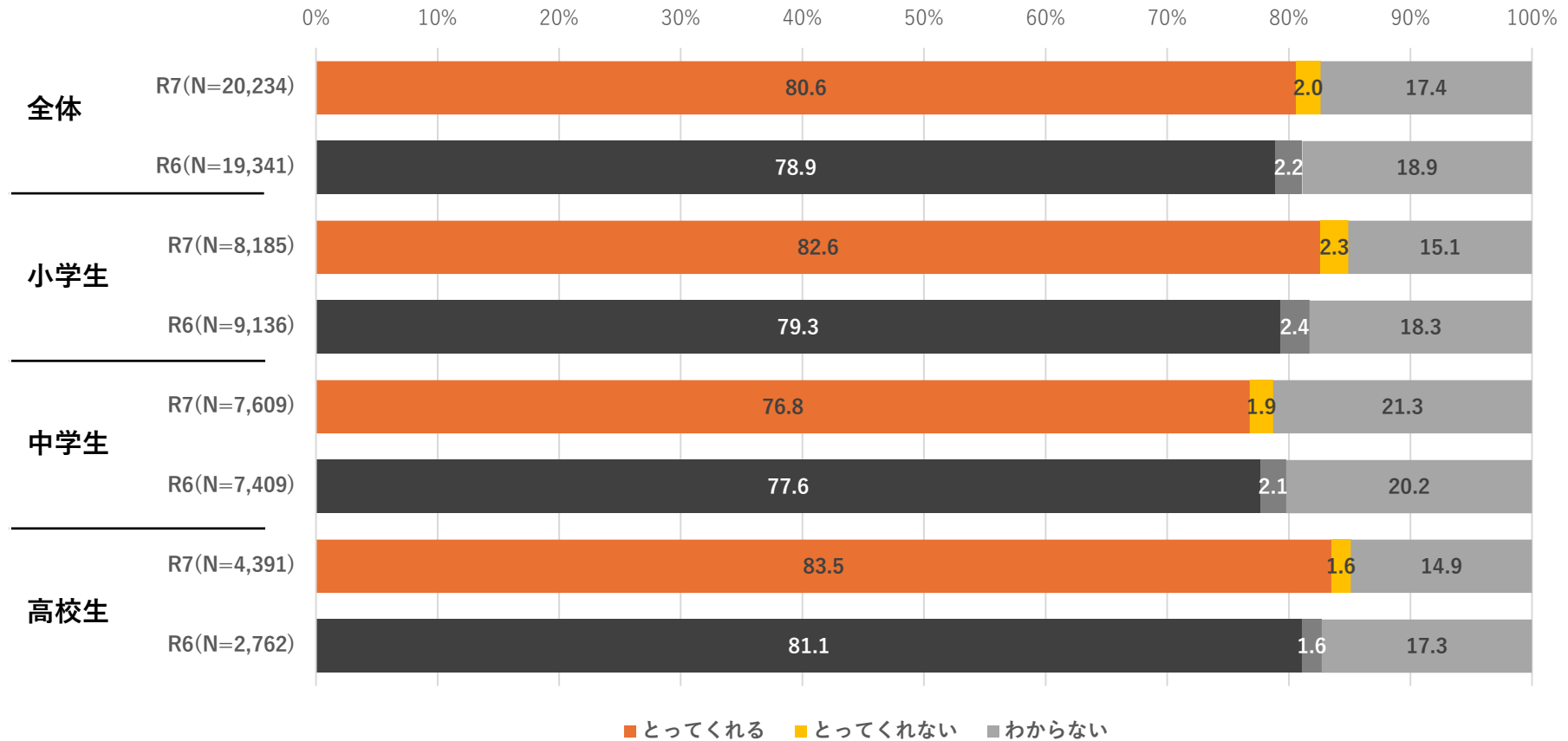
- ・全体では「ない・分からない」が最も多く、「スポーツ系」「医療・福祉系」と続く。
- ・小学生は「スポーツ系」が最も多く、その他の職業と比べて突出している。
- ・中学生は「ない・分からない」が最も多く、その他の校種と比べても突出している。
- ・高校生は「ない・分からない」が最も多いものの、「医療・福祉系」も人気となっている。

10. 生活の中で困っていること、心配に感じる事はどんなことですか？(*あてはまるものすべて)



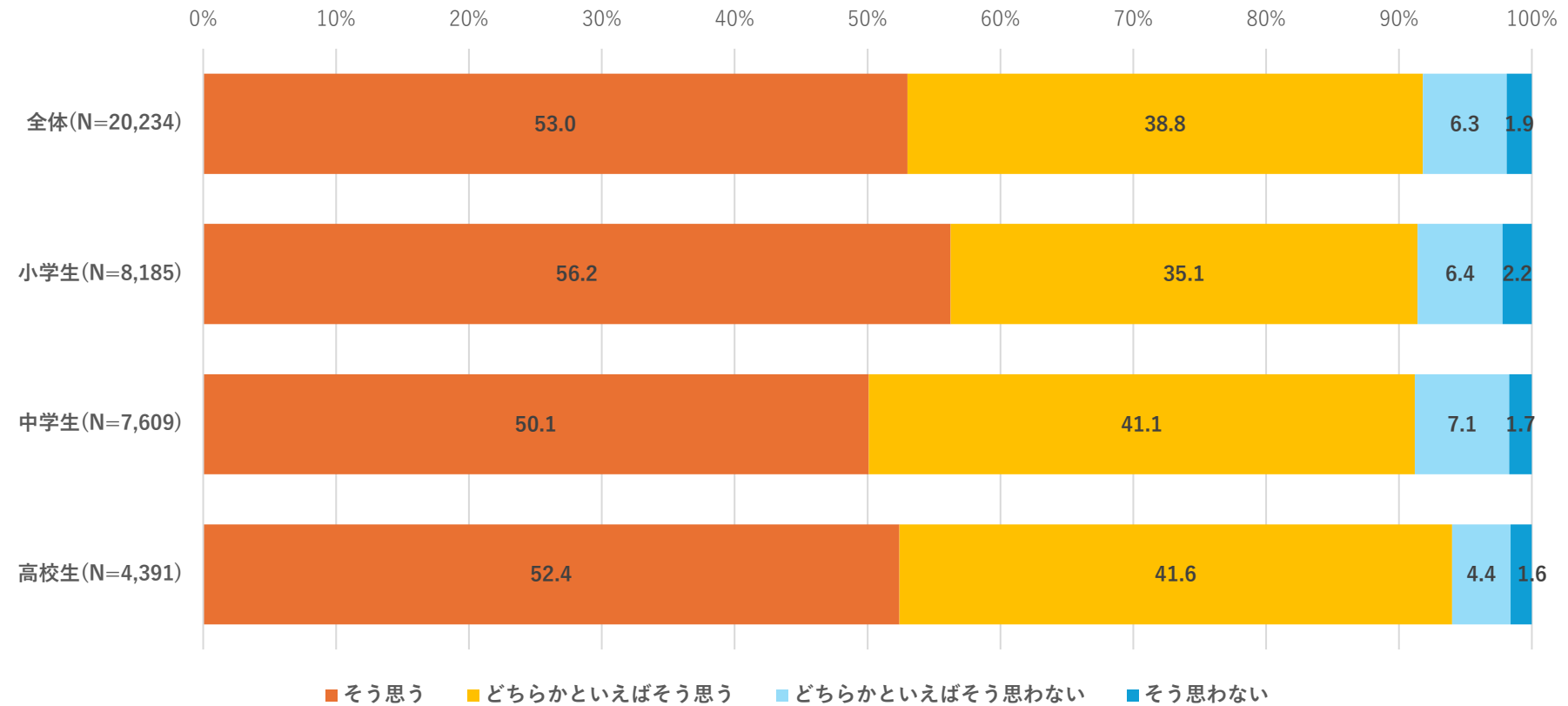
- 全体では「特になし」が最も多く、「将来のこと」「授業など勉強や成績のこと」と続く。
- 年齢が上がるにつれて「特になし」「友達のこと」と回答する割合は減少する傾向がみられる。
- 年齢が上がるにつれて「将来のこと」と回答する割合は増加する傾向がみられる。

11. あなたの家族は、あなたと向き合う時間を十分にとってくれますか？（*いずれか1つ）



- 小学生、中学生、高校生ともに、「とってくれる」が最も多く、全体では8割を超えている。
- R6と比較し大きな変化はない。

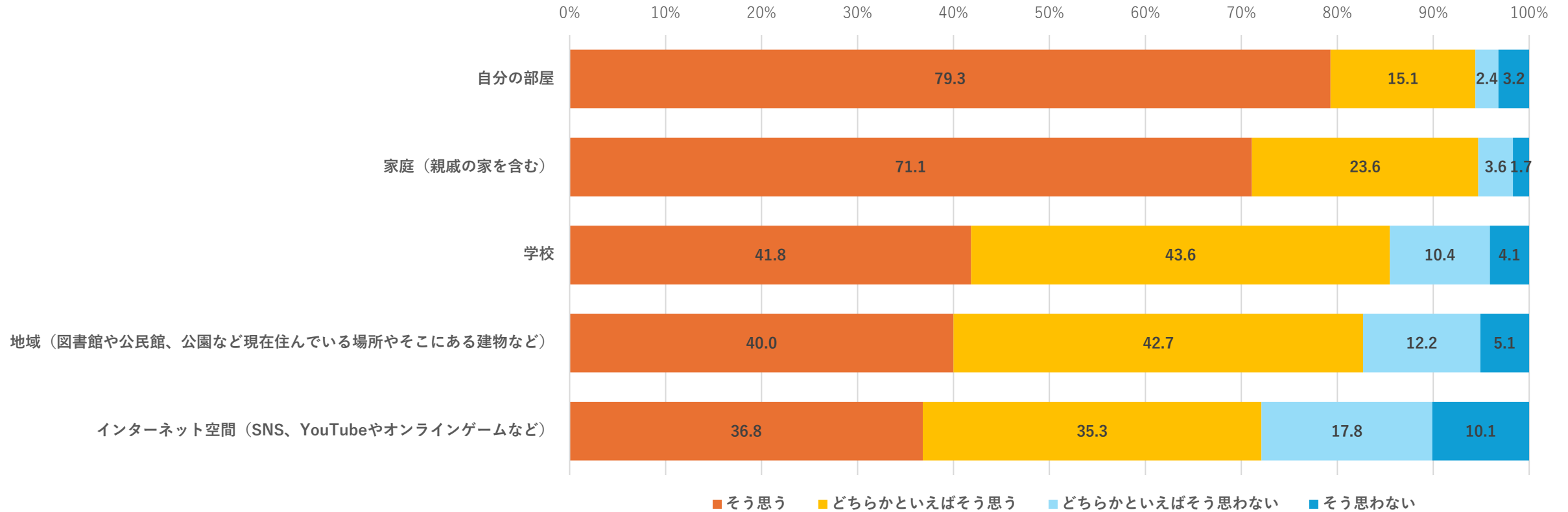
12. 学校は安全安心に過ごすことができますか? (*いずれか1つ)



- 全体では「そう思う」と回答した割合は5割程度。「どちらかといえばそう思う」を含めると9割を超える。
- 「そう思う」と回答した割合は小学生が最も多く、中学生が最も少ない。

13. 次の場所は、あなたにとって安全で安心して過ごすことのできる場所になっていますか？(*それぞれ1つずつ)

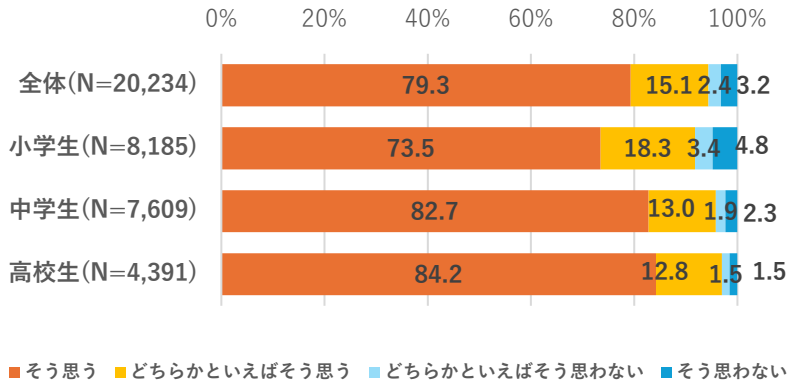
全体



全体では自分の部屋と家庭(親戚の家を含む)で「そう思う」と回答した割合が7割を超えている。

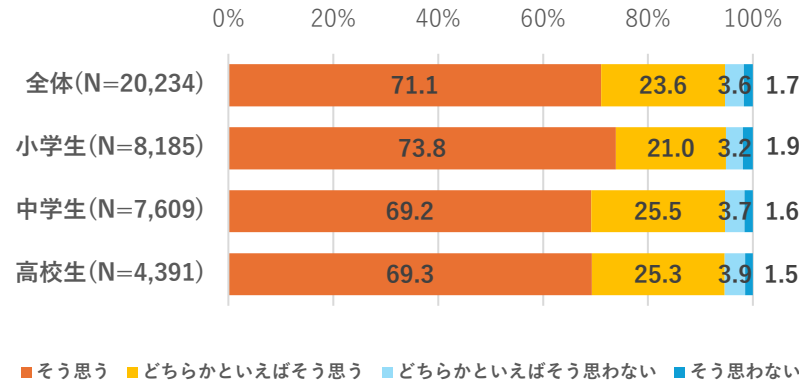
【安心できる場所】各項目詳細

①自分の部屋



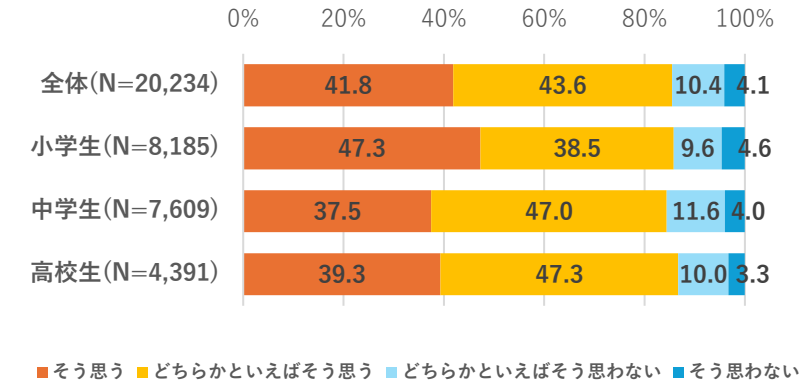
- 小学生は「そう思う」の割合が全体平均よりも低い。
- 中学生と高校生は「そう思う」の割合が全体平均よりも高く、8割を超えている。

②家庭



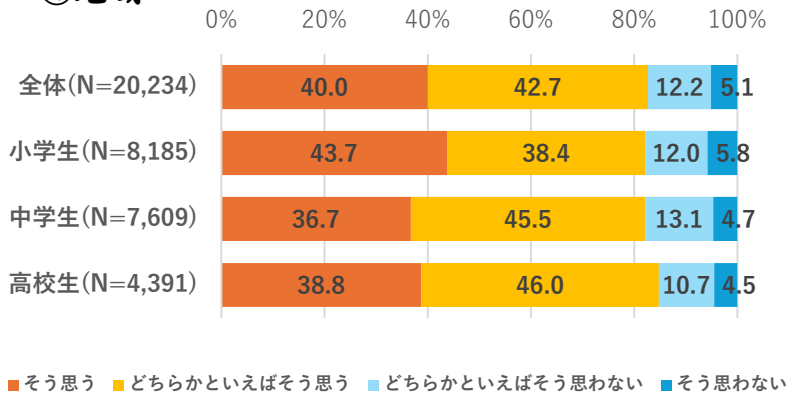
- 小学生は「そう思う」の割合が全体平均よりも高い。
- 中学生と高校生は「そう思う」の割合が全体平均よりもやや低い。

③学校



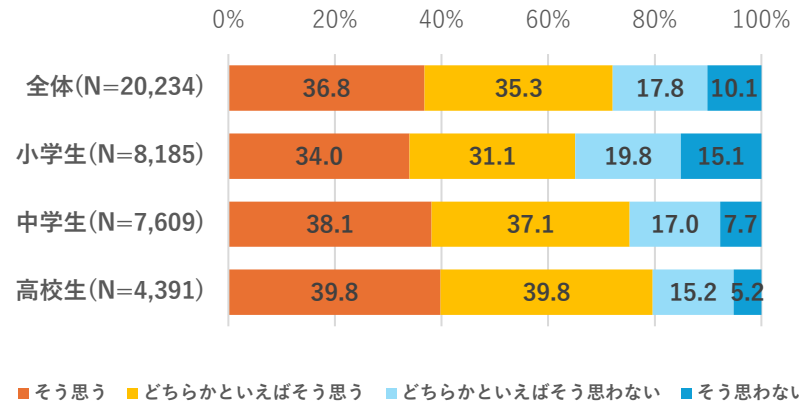
- 小学生は「そう思う」の割合が全体平均よりも高い。
- 中学生と高校生は「そう思う」の割合が全体平均よりも低い。

④地域



- 小学生は「そう思う」の割合が全体平均よりも高い。
- 中学生と高校生は「そう思う」の割合が全体平均よりも低い。

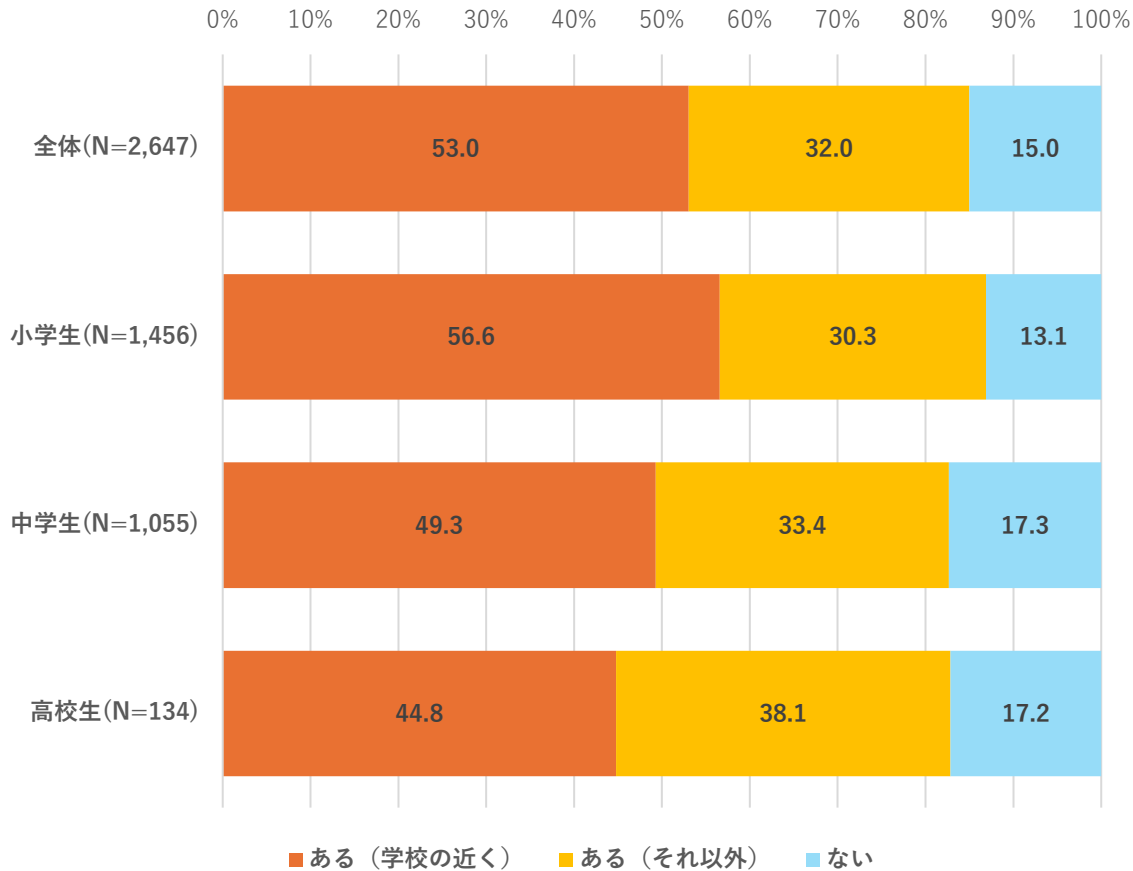
⑤インターネット空間



- 小学生は「そう思う」の割合が全体平均よりも低い。
- 中学生と高校生は「そう思う」の割合が全体平均よりも高い。

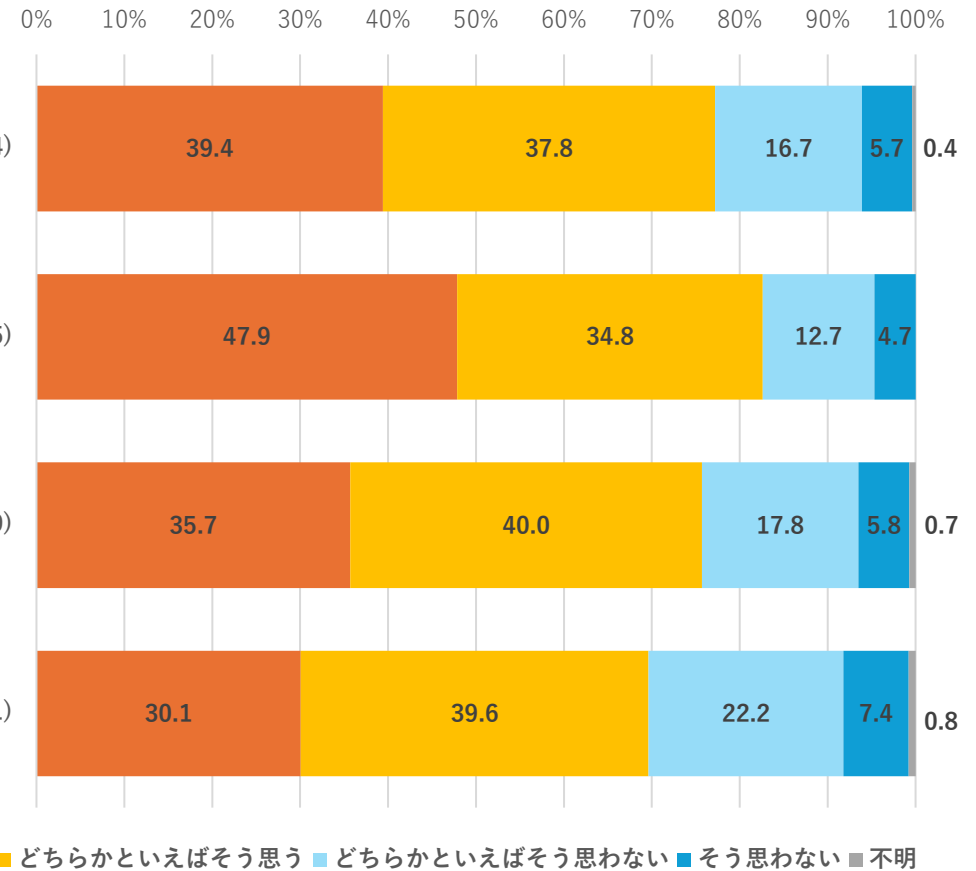
14. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所が身近にありますか？（*いずれか1つ）

※長崎市のみ



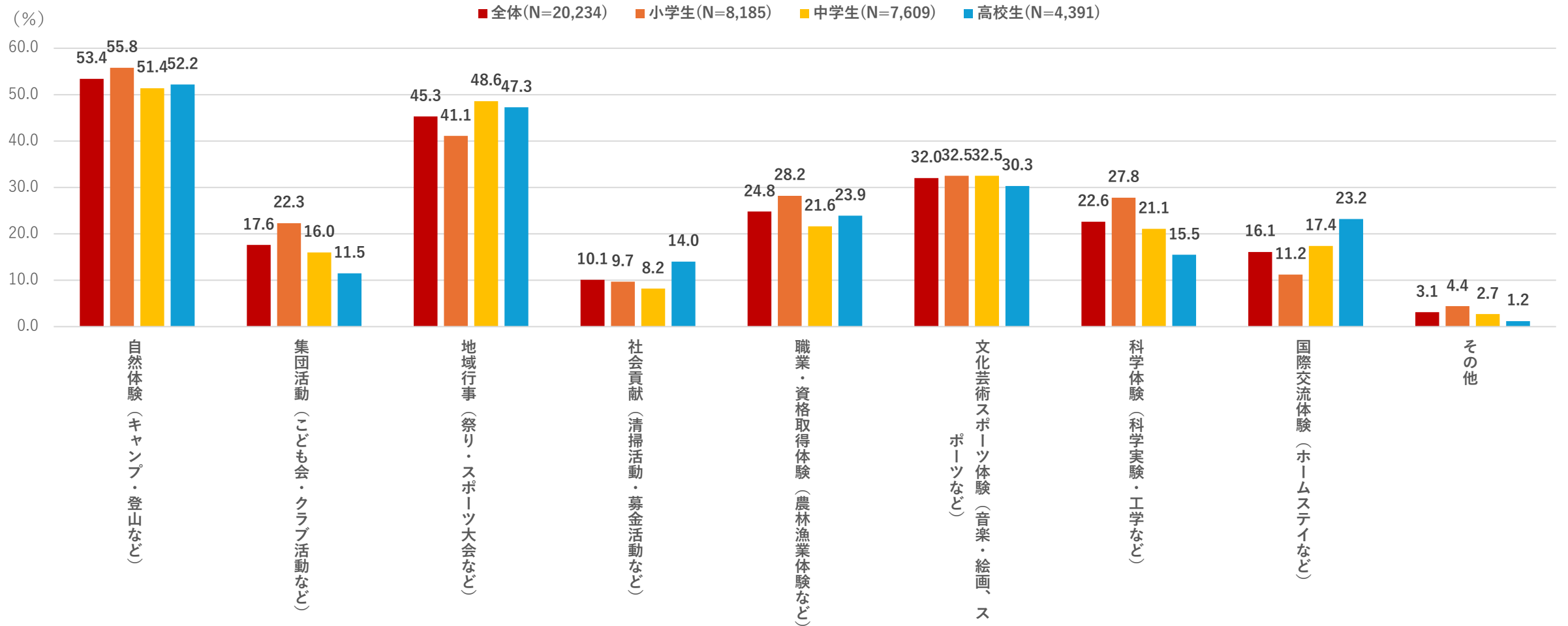
- 小学生、中学生、高校生ともに、「ある（学校の近く）」が最も多い。
- 中学生、高校生は、「ある（学校の近く）」が小学生と比較して少なく、「ない」が多い。

15. あなたの身の回りには、遊びや体験のできる場所が十分にあると思いますか？（*いずれか1つ）



- 全体では「そう思う」が4割程度と最も多い。
- 年齢が上がるにつれて「そう思う」と回答した割合は減少し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」は増加する傾向がみられる。

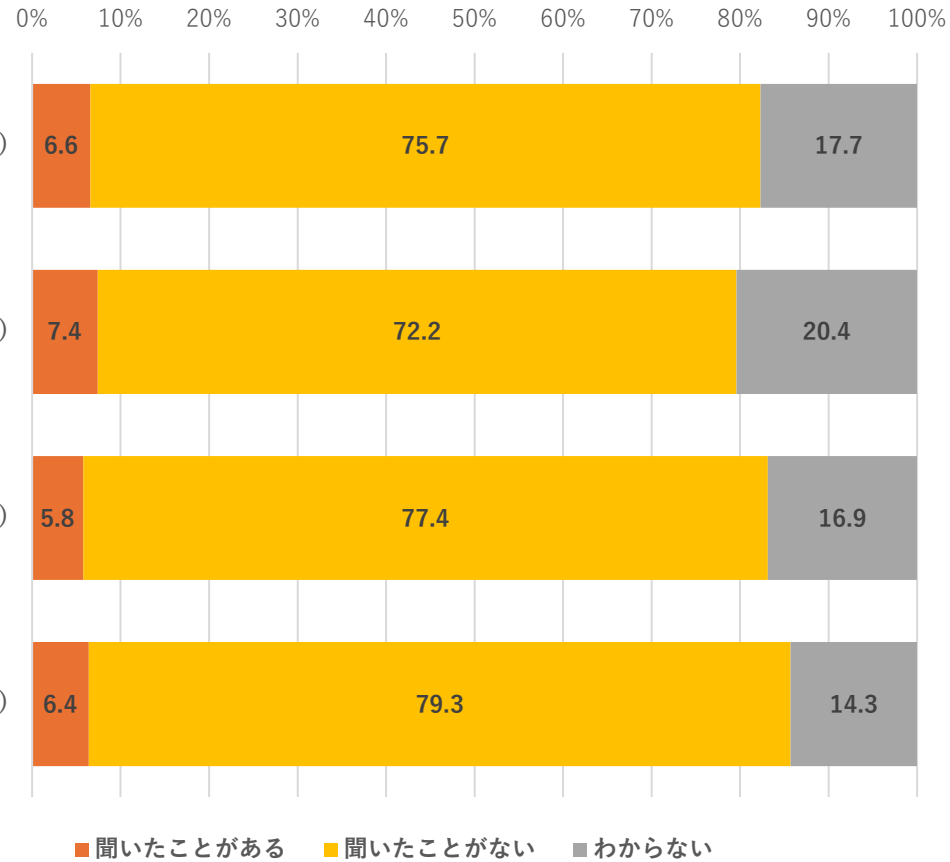
16. あなたがやってみたい体験にはどのようなものがありますか？(*あてはまるものすべて)



- 小学生、中学生、高校生ともに、「自然体験」が最も多く、5割を超えている。
- 次いで「地域行事」「文化芸術スポーツ体験」が全ての校種共通で上位を占める結果となった。

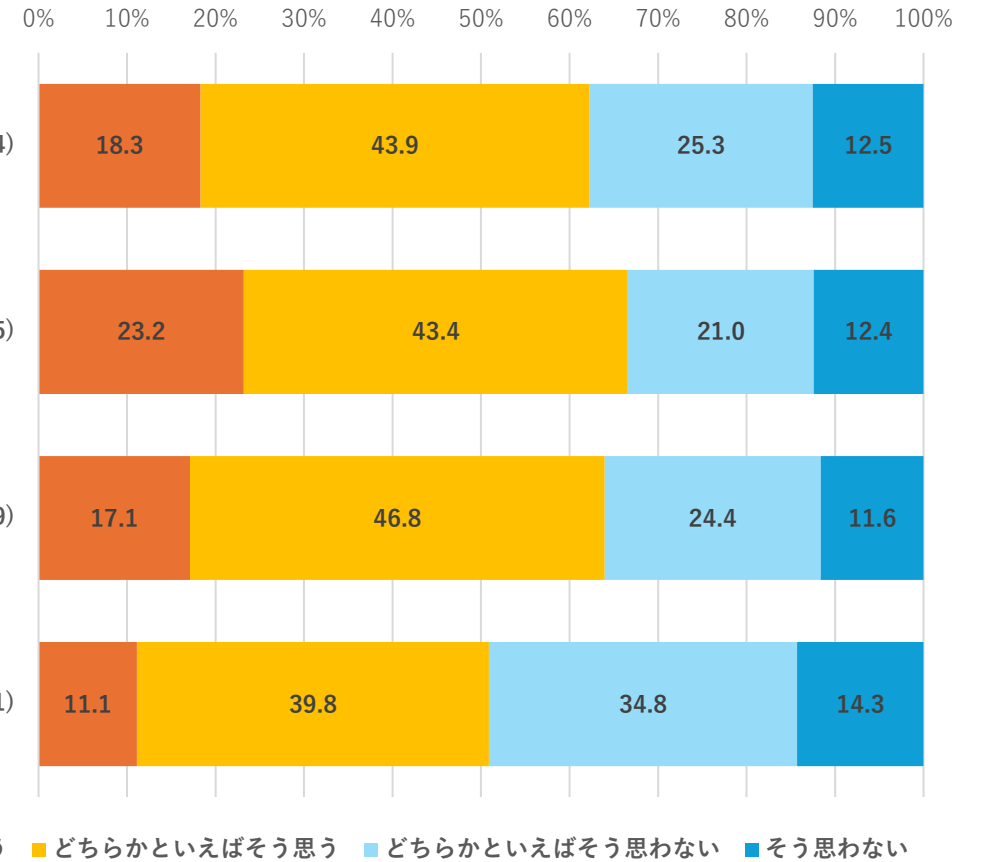
17. あなたは「子どもまんなか社会」という言葉を聞いたことがありますか？（*いずれか1つ）

校種別



- ・ 「聞いたことがある」と回答したのは全体の1割未満。
- ・ 小学生、中学生、高校生の全てで「聞いたことがある」は1割未満となっている。

18. あなたは、子どもに関する行政(国や県、市町)などの取組について、自身の意見をきいてもらえていると思いますか？（*いずれか1つ）



- ・ 「そう思う」と回答したのは全体の2割未満。
- ・ 校種別では「そう思う」と回答した割合は小学生が最も高く、年齢が上がるにれて低くなる傾向がみられる。

【自由記述】

県が目指す「こどもまんなか社会」を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもまんなか」の理想の長崎県(社会)の姿など、自由な意見を聞かせてください。

- 意見数：11,524件（小学校：5,525件、中学校：4,316件、高校：1,683件）
- 回答者からの意見を「こどもの意見尊重・相談の場」「遊び場・娯楽・体験施設」「安全・安心・平和」「教育・支援・経済」「思いやり・平等・交流」「環境・街づくり」の6区分に分類、類似する意見を要約し主な意見として記載。

1. こどもの意見尊重・相談の場

こどもの意見を形だけでなく実際に反映し、大人に否定されず安心して発言できる環境が求められている。意見箱や会議、相談窓口などを整備し、政治や地域活動に子どもの声を届ける仕組みづくりが重要とされている。

意見（要約抜粋）

アンケートや意見箱、こども会議などを通じて、こどもが気軽に意見を出し、それを実際に反映できる仕組みを求める声が多い

校則や学校のルールは大人だけでなく、こどもも議論に参加し納得できる形で決めてほしい

相談できる窓口や秘密を守ってくれる安心の場が必要

2. 遊び場・娯楽・体験施設

屋外公園や遊具、雨天時に使える室内施設の不足を改善してほしいとの声が多い。学びと遊びが両立できる体験型施設や職業体験、地域イベントの拡充を望む意見も強く、地域や離島間の格差解消も課題として挙げられている。

意見（要約抜粋）

公園や遊具、ボール遊びができる場所など「身近に自由に遊べる場所」が不足しているとの声が多い

大規模な商業施設や娯楽施設（遊園地、ラウンドワン、体験アクティビティなど）を県内各地に整備してほしい

学びと遊びが両立できる「自習室＋遊び場」や地域交流施設を求める意見も目立つ

3. 安全・安心・平和

いじめや虐待、犯罪・事故の防止を最優先に、こどもが安心して生活できる仕組みの充実を求める声が目立つ。戦争のない平和な社会を守りたいという願いとともに、日常の防犯体制や相談機関の整備も求められている。

意見（要約抜粋）

登下校や地域での防犯体制を強化し、犯罪や事故からこどもを守る仕組みを整える必要がある

いじめ・不登校・虐待に対応できる相談窓口や支援体制を充実させるべき

「平和な街」「事件・差別・戦争がない社会」を強く望む声が多数

4. 教育・支援・経済

教育費の軽減（給食費無償化、高校授業料無償化、奨学金拡充など）や、こども食堂・給付金による生活支援を強化してほしいとの意見が多い。経済格差をなくし、すべてのこどもが学びや将来の選択肢を平等に得られる環境を望む声強い。

意見（要約抜粋）

高校・大学の学費無償化や奨学金制度の改善を求める声強い

子ども食堂や給付金など、経済的に困るこどもへの支援を重視する意見が目立つ

学校施設の老朽化改善やエアコン設置、自習スペース拡充など、教育環境を整える要望も多い

5. 思いやり・平等・交流

いじめや差別のない社会を求め、誰もが平等に扱われることを重視する声が多い。世代や立場を超えた交流や地域イベントを通じて助け合い、互いを尊重し合える社会づくりが必要との意見が多数寄せられている。

意見（要約抜粋）

年齢や立場にかかわらず意見が尊重され、誰もが平等に暮らせる社会を理想とする声

他校や地域を超えた交流、イベントや祭りの充実を望む意見が多い

障害のある子どもが普通に受け入れられ、差別や孤立がない社会を求める声も根強い

6. 環境・街づくり

清潔でごみのない街、自然環境の保全、交通の便利さを整えた暮らしやすい地域づくりを求める意見が多い。都市的な施設や観光資源の拡充を望む声と、自然豊かで安心できる地域環境を大切にしたいとの声が両立している。

意見（要約抜粋）

ゴミがない、清潔で自然と共存できる街づくりを望む声

公共交通の利便性を高め、離島や田舎の格差を減らすことが重要

ショッピングモールや観光資源の整備など「都会的で活気ある街」を望む意見も多い